



バイエル薬品株式会社
〒530-0001
大阪市北区梅田 2-4-9
TEL 06-6133-7333
www.byl.bayer.co.jp/

News Release

日本のために開発した日本独自の製剤:

バイエル薬品 経口抗凝固剤「イグザレルト®OD 錠」を新発売

- 水なしでも服用できる、高齢者が抱える服薬上のニーズに応える製剤
- 薬剤名が視認可能な、患者さんとその家族や医療従事者にやさしい製剤

大阪、2021年1月18日 — バイエル薬品株式会社(本社:大阪市、代表取締役社長:ハイケ・プリンツ、以下バイエル薬品)は本日、選択的直接作用型第Xa因子阻害剤(経口抗凝固剤)イグザレルト®(一般名:リバーロキサバン)の新剤形として、「イグザレルト®OD 錠 10mg」「同 15mg」を発売しましたのでお知らせします。



バイエル薬品は、イグザレルト®を2012年より日本で販売しています。非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中・全身性塞栓症の発症抑制や、深部静脈血栓症・肺血栓塞栓症の治療・再発抑制の成人適応が承認されています。

新製品のイグザレルト®OD 錠(口腔内崩壊錠)は、嚥下力の低下、複数の薬剤の服用といった高齢者が抱える服薬上のニーズに応えるため、日本向けの製剤として日本で独自に開発しました。同OD錠は、唾液で速やかに崩壊するため、水なしでも服用できます。また、患者さんとその家族や医療従事者にやさしい製剤を目指し、同OD錠にはバイエル薬品では初めて、錠剤の両面に販売名のカラー印字を行い、薬剤情報が一目でわかるようにしました。

バイエル薬品は、よりよい暮らしのために血栓症から患者さんを守る「Protection」をスローガンに取り組んでおり、新たにイグザレルト®OD錠をお届けすることを通じて、日本の皆さまにより一層貢献してまいります。

<イグザレルト® OD錠の概要>

販売名	イグザレルト®OD錠 10mg、同 OD錠 15mg
一般名	リバーロキサバン（Rivaroxaban）
効能・効果	- 非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制 - 深部静脈血栓症及び肺血栓塞栓症の治療及び再発抑制
用法・用量	〈非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制〉 通常、成人にはリバーロキサバンとして15mgを1日1回食後に経口投与する。なお、腎障害のある患者に対しては、腎機能の程度に応じて10mg1日1回に減量する。 〈深部静脈血栓症及び肺血栓塞栓症の治療及び再発抑制〉 通常、成人には深部静脈血栓症又は肺血栓塞栓症発症後の初期3週間はリバーロキサバンとして15mgを1日2回食後に経口投与し、その後は15mgを1日1回食後に経口投与する。
製造販売承認日	2020年8月6日
薬価	イグザレルト®OD錠 10mg:364.10円／錠、同 15mg:517.00円／錠 (薬価基準収載日 2020年12月11日)
発売日	2021年1月18日
製造販売元	バイエル薬品株式会社



循環器疾患および腎疾患におけるバイエルのコミットメントについて

バイエルは、循環器疾患領域における革新的リーダーとして、革新的治療のポートフォリオを充実させることで、「Science for a better life」をお届けできるよう長年にわたり取り組んでいます。心臓と腎臓は健康や疾患において密接に関わっており、バイエルはアンメット・メディカル・ニーズが高い循環器疾患と腎疾患に対する新しい治療アプローチについて、幅広い領域で取り組んでいます。バイエルの循環器フランチイズには多くの製品があり、前臨床および臨床開発のさまざまな段階にあるその他いくつかの化合物があります。これらの製品・化合物は、循環器疾患の治療法に影響を与える可能性のある標的やシグナル伝達経路を優先的に開発するバイエルのアプローチを反映しています。

バイエルについて

バイエルは、ヘルスケアと食糧関連のライフサイエンス領域を中核事業とするグローバル企業です。その製品とサービスを通じて、世界人口の増加と高齢化によって生じる重要課題克服への取り組みをサポートすることで、人々の生活に貢献しています。同時に、収益力を高め、技術革新と成長を通して企業価値を創造することも目指しています。また、バイエルは、持続可能な発展に尽力し、バイエルブランドは、世界各国で信用と信頼性および品質の証となっています。グループ全体の売上高は 435 億ユーロ、従業員数は 104,000 名 (2019 年)。設備投資額は 29 億ユーロ、研究開発費は 53 億ユーロです。詳細は www.bayer.com をご参照ください。

バイエル薬品株式会社について

バイエル薬品株式会社は本社を大阪に置き、医療用医薬品、コンシューマーヘルスの各事業からなるヘルスケア企業です。医療用医薬品部門では、循環器・腎臓領域、オンコロジー領域、眼科領域、婦人科領域、血液領域、画像診断領域に注力しています。コンシューマーヘルス部門では、プレナタルサプリメントや美容サプリメント、腔カンジダ抗真菌剤に注力しています。同社は、技術革新と革新的な製品によって、日本の患者さんの「満たされない願い」に応える先進医薬品企業を目指しています。詳細は www.byl.bayer.co.jp をご参照ください。

バイエル薬品株式会社

2021 年 1 月 18 日、大阪

※本資料は、国内の報道関係者の方々を対象に、バイエル薬品の企業活動に関する情報を提供しています。一般の方に対する情報提供を目的としたものではありませんのでご了承ください。

将来予想に関する記述 (Forward-Looking Statements)

このニュースリリースには、バイエルの経営陣による現在の試算および予測に基づく将来予想に関する記述 (Forward-Looking Statements) が含まれている場合があります。さまざまな既知・未知のリスク、不確実性、その他の要因により、将来の実績、財務状況、企業の動向または業績と、当文書における予測との間に大きな相違が生じることがあります。これらの要因には、当社の Web サイト上 (www.bayer.com) に公開されている報告書に説明されているものが含まれます。当社は、これらの将来予想に関する記述を更新し、将来の出来事または情勢に適合させる責任を負いません。